

農林大学校花きコースの県外研修

和歌山県農林大学校 谷口 正幸

本年 4 月より「アグリビジネス学科」と「林業研修部」が新設され、農業大学校が「農林大学校」となりました。

例年、2 年生は野菜、果樹、花きのコース毎に県外研修を実施しており、花きコースでは 8 月 9～10 日にかけて愛知県で研修を行いました。研修場所は国内でも有数の切り花産地として有名な渥美半島の中程にある田原市で、愛知県東三河農林水産事務所田原農業改良普及所の担当者の方々にお世話になり、カーネーション、スプレーギク、輪ギクの栽培について学びました。

最初の研修先では国の事業を活用して導入したハウスが建ち並ぶ生産団地でカーネーション栽培について生産者の方から説明を受けました。



次の研修先では昨年まで愛知県の 4 H クラブ会長を務めていた若手農業者の方が栽培するスプレーギクについて研修を受けました。スプレーギクは全量 J A 出荷となっており、現地で説明をしていただいた生産者の方は J A のスプレーマム出荷連合で栽培部長を務められていて、新規導入品種検討のため、いくつかの品種を試作しているとのことでした。



この日最後の研修として輪ギクの生産者の方に話を伺いました。今年の天候は例年に比べ高温、乾燥が続いたため出荷が 10～14 日程度遅れているとの話を伺うことができました。

8 月 10 日には愛知県農業大学校を訪れ、学校の現況及び課題について職員の方から話を伺いました。



この日は夏期休校ということもあり学生同士の交流はありませんでしたが、規模の大きいほ場や昨年完成した学生寮を見学するなど本校の学生たちにとっては大きな刺激となりました。

今後、2 年生は様々な研修や学習を経て社会に出て行くこととなりますが、この研修での体験が彼らにとって少しでも実りあるものであればと願っています。